

カナダの金融市場動向 Weekly Report

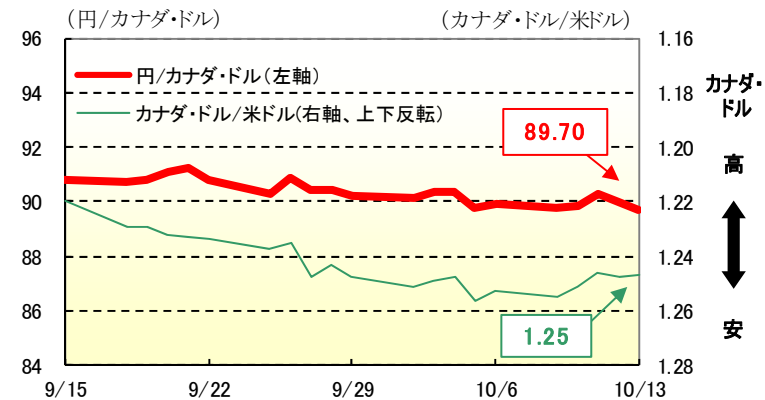
【2017年10月7日～2017年10月13日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円はほぼ横ばいで推移し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週は、カナダでは特段重要な経済指標の発表はありませんでしたが、米国で発表されたCPI(消費者物価指数)が市場の予想を下回る伸びであったことで米国金利が低下したことなどが、カナダの金利低下圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年9月15日～2017年10月13日)



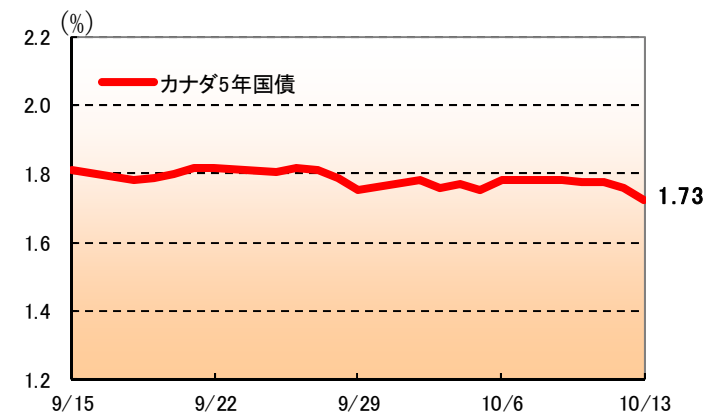
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週は、カナダで発表されるCPI(消費者物価指数)や小売売上高に注目が集まりそうです。これらが市場予想を上回る堅調な結果となれば、金利やカナダ・ドル円の上昇圧力が高まるとみています。

一方で、北朝鮮情勢など地政学リスクが意識される局面では、市場のリスク回避的な姿勢が強まり、金利低下や円高カナダ・ドル安が進むと考えられます。

【カナダ 金利推移】 (2017年9月15日～2017年10月13日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>